

2012年調査によるシロマダラ (*Dinodon Orientale*) の 生息確認について

寺島淳一

001-0017 北海道札幌市北区北 17 条西 1 丁目 1-3 末永ビル 株式会社地域環境計画

A confirmation of *Dinodon orientale* inhabiting by the survey in 2012.

By Jyunichi Terashima

Suenaga Bld. North 17 West 1-1-3, Kita-ku, Sapporo-shi, Hokkaido prefecture, 001-0017, Japan

序 文

シロマダラ (*Dinodon orientale*) は、北海道では2011年までに9例しか確認されておらず、偶発的な発見例がほとんどで、調査研究目的で個体を捕獲できた例は僅か2例である。(徳田他,2012)このため、北海道におけるシロマダラの生態は、解明されていない点が多い。

著者らは2011年にも北海道石狩市厚田区においてシロマダラを捕獲し報告を行った(徳田他,2012)が、2012年もシロマダラの捕獲調査に臨み、同地においてシロマダラを発見したので、ここに報告する。

なお、個体の発見箇所が狭い範囲に限局されていることや、環境保持及び当該地域住民の生活に対する配慮のため、捕獲箇所の詳細は明記しないこととした。

調査方法

調査地は、石狩市厚田区及び恵庭市盤尻に

設定した。石狩市厚田区では、2011年に著者による捕獲実績のある地域の海岸地域に限定して調査した。(徳田他,2012)恵庭市盤尻は、当該地域がシロマダラの確保記録がある札幌市南区小金湯温泉(水上他,1989)に類似した渓谷環境であることから設定した。

調査は6月下旬に2回(6月24日,30日)実施した。2011年の調査では、調査人数が多かったことと細かな気象条件を除けば、各回の観察条件(時間、範囲、探索方法)はほぼ同様であった。このような状況下で、個体の捕獲は6月下旬に限られたことから、2012年の調査は調査時期を6月下旬に設定した。

調査内容は、餌資源調査と、個体探索調査に大きく分けた。餌資源調査は、シロマダラの餌として考えられるヒガシニホントカゲ (*Plestiodon finitimus*) とニホンカナヘビ (*Takydromus tachydromoides*) の、個体及び卵の分布把握を目的として、14:00~17:00の間、調査地を踏



図1. 6月24日のシロマダラ発見箇所

Fig1. The place *Dinodon orientale* was found on 24th June.



図2. 6月24日に発見したシロマダラ.コンクリートの隙間に潜む.

Fig2. A picture of *Dinodon orientale*, found on 24th June. It was hiding in a gap of concrete.

査した.個体探索調査は,18:00~22:30の間,2011年の実績に倣い,コンクリート擁壁の目地に注目しつつ,餌資源調査の結果も考慮して,個体を探査した.

調査結果

6月24日19時15分に石狩調査地のコンクリート擁壁目地内において,シロマダラ成体1個体を発見した.(図1,図2)発見場所は2011年の調査(徳田他,2012)での発見地とほぼ同じ箇所であった.発見時の気象は曇り,気温は16.9°C,湿度82%であった.なお14時の気温は24.5°C,湿度54%.17時の気温は24.8°C,湿度56%.21時の気温は15.2°C,湿度は96%.22時の気温は15.1°C,湿度は98%であった.発見時,個体は目地内の空間にて休息中であった.20時30分頃,懐中電灯の照明を避けるように目地の奥へ進み,コンクリートが劣化してきたと考えられる横孔に入った.このため,個体の捕獲には至らなかった.

6月30日には石狩調査地で夜間の個体探索調査のみ実施した.この際も1個体のシロマダラを確認することができた.(図3,図4)

19時00分頃,前回6月24日の発見箇所から3m程度離れた箇所のコンクリート目地内であった.10分間交代で個体を監視したところ,20時47分に個体が自発的に擁壁外に出てきたため,一時的な捕獲に成功した.しかし指で頸部を圧迫する形で捕獲してしまったため,気道閉塞のおそれがあった.長時間に渡るこの姿勢での保持では,窒息のおそれがあると判断し,捕獲個体を放した.発見時の気象は曇り,19時の気温は22.9°C,湿度57%であった.21時の気温は20.7°C,湿度は66%.22時の気温は20.9°C,湿度は67%であった.

恵庭調査地では,6月24日と30日の2回の調査ともシロマダラを確認することはできなかつたが,日中の調査ではヒガシニホントカゲやニホンカナヘビといった餌資源は非常に多く確認することができ,また夜間にはコンクリート擁壁の目地に潜り込んで休息するヒガシニホントカゲが確認された.

考察

2012年に実施した2度の調査で発見された石狩調査地の個体は,捕獲箇所や見た目の大



図3. 6月30日のシロマダラ発見箇所

Fig3. The place *Dinodon orientale* was found on 30th June.

きさから考えるに、同一個体である可能性が高いと思われるが、2011年の調査結果(徳田他, 2012)及びその産卵記録(徳田・本田, 2012)を踏まえて評価すると、石狩調査地はシロマダラの繁殖地であると言っても差し支えないと考える。

北海道のシロマダラの生態情報は非常に乏しいので、石狩調査地は極めて貴重な場所であり、維持保全されるべき場所であると考える。今回の調査結果が、今後のシロマダラ研究及び本種に関する認知度の向上に役立てば幸いである。

謝 辞

2012年の調査にあたり、時間を惜しまず協力してくださった徳田龍弘氏、矢野幹也氏、市野義成氏、庄子信行氏、根本昌治氏、渡邊雅樹氏、澄川大輔氏、渡辺竜己氏、嶋崎太郎氏、



図4. 6月30日に一時捕獲したシロマダラ

Fig4. A picture of *Dinodon orientale*, found on 30th June.

原瑞恵氏、村井拓哉氏、小菅千絵氏、Nina Pingvina氏、小林めぐみ氏、広瀬良宏氏、佐々木拓司氏、小菅しおり氏、浅野託矢氏には、この場を借りて感謝を表したい。

引 用 文 献

水上信吉・三原嘉之・鳥羽通久・森口一. 1989. 北海道で採集されたシロマダラ. *The Snake* 21 : 114-115.

徳田龍弘. 2010. 2009年現在北海道で確認されているシロマダラ(*Dinodon orientale*)の記録について. 爬虫両棲類学会報 2010(1) : 35-37.

徳田龍弘・庄子信行・寺島淳一. 2012. 北海道で確認されたシロマダラ(*Dinodon orientale*)統報. 爬虫両棲類学会報 2012(1) : 2-6.

徳田龍弘・本田直也. 2012. 北海道産シロマダラ (*Dinodon orientale*)の産卵孵化について. 爬虫両棲類学会報 2012(1) : 6-9.